

## 中学校 音楽

### 解答についての注意点

- 1 解答用紙は、記述式解答用紙とマーク式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1**～大問 **2**については、記述式解答用紙に、大問 **3**～大問 **4**については、マーク式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。  
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **3**～大問 **4**の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。  
例えば、「解答番号は  」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号  の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。



1 これから放送されるア～クの音楽や楽器の音を聴いて、次の（１）～（４）の問いに答えよ。

（１）ア～オの楽曲名と作曲者名を記せ。なお、解答用紙の「」に、必要な事項を記入すること。

（２）① カの曲名と作曲者名を記せ。

② カで使用されている独奏楽器の楽器名を二つ記せ。

（３）キの楽器に関連のある国または地域を下の語群 A～F から一つ選び、解答用紙に記号で記せ。また、この楽器名を記せ。

（語群）	A 西アフリカ	B コロンビア	C モンゴル
	D オマーン	E オセアニア	
	F スカンディナヴィア諸国		

（４）クの音楽について、二声の旋律を聴き取り、解答用紙の五線譜の 2～8 小節に書き記せ。また、伴奏パートの和音を聴き取り、コードネームで書き記せ。

調性はニ長調、拍子は 4 分の 4 拍子とする。

2 次の問いに答えよ。

次の楽譜は、源田俊一郎 編曲「混声合唱のための唱歌メドレー『ふるさとの四季』」より、「故郷」（岡野貞一 作曲）の一部である。ただし、この楽譜には、調号、拍子記号、ソプラノパートが抜けている。次の①～⑤の条件を踏まえて、解答用紙の五線譜に弦楽四重奏用の楽譜を作成せよ。

- ① 解答用紙に適切な調号、拍子記号、音符を記入すること。
- ② 調性は、変イ長調に移調すること。
- ③ 使用する楽器は、ヴァイオリン（1st, 2nd）、ビオラ、チェロとする。
- ④ ソプラノパートを1stヴァイオリン、アルトパートを2ndヴァイオリン、テノールパートをビオラ、バスパートをチェロとする。
- ⑤ テノールパートは実声の高さとして考えるものとする。

Soprano

Alto

Tenor

Bass

This system contains the first four measures of a musical score. The Soprano part is a single staff with a treble clef, which is mostly empty. The Alto, Tenor, and Bass parts are grouped together with a brace on the left. The Alto part uses a treble clef, the Tenor part uses a treble clef with an 8 below it, and the Bass part uses a bass clef. The music consists of quarter and eighth notes, with some dotted rhythms.

5

S.

A.

T.

B.

This system contains measures 5 through 8. The Soprano part (S.) is a single staff with a treble clef, mostly empty. The Alto (A.), Tenor (T.), and Bass (B.) parts are grouped together with a brace on the left. The Alto part uses a treble clef, the Tenor part uses a treble clef with an 8 below it, and the Bass part uses a bass clef. The music continues with similar rhythmic patterns of quarter and eighth notes.

9

S.

A.

T.

B.

This system contains measures 9 through 12. The Soprano part (S.) is a single staff with a treble clef, mostly empty. The Alto (A.), Tenor (T.), and Bass (B.) parts are grouped together with a brace on the left. The Alto part uses a treble clef, the Tenor part uses a treble clef with an 8 below it, and the Bass part uses a bass clef. The music continues with similar rhythmic patterns of quarter and eighth notes.

13

S.

A.

T.

B.

This system contains measures 13 through 16. The Soprano part (S.) is a single staff with a treble clef, mostly empty. The Alto (A.), Tenor (T.), and Bass (B.) parts are grouped together with a brace on the left. The Alto part uses a treble clef, the Tenor part uses a treble clef with an 8 below it, and the Bass part uses a bass clef. The music continues with similar rhythmic patterns of quarter and eighth notes.

(問題は次のページへ続きます)

3 次の(1)～(15)の問いに答えよ。

(1) 次のア作曲家とイ作品の組み合わせについて全て適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- |   |              |                       |
|---|--------------|-----------------------|
| 1 | ア W.A.モーツァルト | イ 「イドメネオ」             |
|   | ア G.プッチーニ    | イ 「蝶々夫人」              |
|   | ア G.ヴェルディ    | イ 「マクベス」              |
|   | ア G.ロッシーニ    | イ 「セビリアの理髪師」          |
|   | ア R.ワーグナー    | イ 「秘密の結婚」             |
| 2 | ア W.A.モーツァルト | イ 「コシ・ファン・トゥッテ」       |
|   | ア G.プッチーニ    | イ 「ラ・ボエーム」            |
|   | ア G.ヴェルディ    | イ 「ナブッコ」              |
|   | ア G.ロッシーニ    | イ 「ウィリアム・テル」          |
|   | ア R.ワーグナー    | イ 「ファウスト」             |
| 3 | ア W.A.モーツァルト | イ 「ドン・ジョヴァンニ」         |
|   | ア G.プッチーニ    | イ 「ジャンニ・スキッキ」         |
|   | ア G.ヴェルディ    | イ 「リゴレット」             |
|   | ア G.ロッシーニ    | イ 「シンデレラ」             |
|   | ア R.ワーグナー    | イ 「ローエングリン」           |
| 4 | ア W.A.モーツァルト | イ 「魔笛」                |
|   | ア G.プッチーニ    | イ 「サロメ」               |
|   | ア G.ヴェルディ    | イ 「椿姫」                |
|   | ア G.ロッシーニ    | イ 「オテロ」               |
|   | ア R.ワーグナー    | イ 「ニュルンベルクのマイスタージンガー」 |
| 5 | ア W.A.モーツァルト | イ 「魔弾の射手」             |
|   | ア G.プッチーニ    | イ 「ホフマン物語」            |
|   | ア G.ヴェルディ    | イ 「ノルマ」               |
|   | ア G.ロッシーニ    | イ 「ラクメ」               |
|   | ア R.ワーグナー    | イ 「ランメルモールのルチア」       |

(2) 箏に関する説明文として適切でないものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 奈良朝時代に雅楽を演奏する楽器の一つとして、唐から日本に伝来したといわれている。
- 2 江戸期に入ると関西に生田流箏曲、続いて江戸中期には関東に山田流箏曲が誕生した。
- 3 かき爪とは、隣り合った2本の弦を中指か人さし指でかき鳴らす手法である。
- 4 サワリは箏特有のビリビリした響きを出すために工夫されたものである。
- 5 大正から昭和初期にかけて宮城道雄が活躍し、西洋音楽の影響を受けた作品を数多く生み出した。

(3) 「浜辺の歌」(林古溪 作詞/成田為三 作曲)の「昔のことぞしのぼるる」に続く歌詞として、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 月の色も 星の影も
- 2 風の音よ 雲のさまよ
- 3 寄する波よ 返す波よ
- 4 寄する波も 貝の色も
- 5 風の音よ 空のさまよ

(4) 「ホ長調」の関係調について適切でないものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 同主調はホ短調である。
- 2 属調の平行調は嬰ト短調である。
- 3 下屬調はイ長調である。
- 4 平行調は嬰ハ短調である。
- 5 属調の同主調は嬰ニ短調である。

(5) 音楽用語とその意味の組み合わせについて適切でないものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 *frettoloso* 急いで
- 2 *compiacevole* 楽しそうに
- 3 *rilasciando* だんだんゆるやかに
- 4 *svegliando* 非常に鋭い
- 5 *intenzionato* 強調して

(6) 次の曲種と形式の説明文として適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 フーガは、ある声部（ドゥクス）を別の声部（コメス）で厳格に模倣することを意味する。
- 2 カノンは、楽器伴奏付きの声楽作品で、一般に複数の楽章から成る。
- 3 カンタータは、司祭、先唱者、聖職者と少年聖歌隊からなる合唱、それに会衆によって歌われる。
- 4 モテットは、多声声楽曲の一曲種で、中世に成立し、聖歌のメリスマ部分にタレアという短いリズム型があてはめられた。
- 5 マドリガーレは、多声の器楽曲または声楽曲で、ポリフォニックな作曲法とその形式および構成の原理をさす。

(7) 次の語句の説明文について適切でないものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 ビットレートは、室内のあらゆる場所で音の強さが等しく、また音があらゆる方向から一様に入射する状態。
- 2 CDは、1982年に登場したPCM符号化によるデジタルオーディオ媒体。
- 3 ストリーミングは、音声のデジタル・データを手元の端末に保存することなく、インターネットに接続しながら再生すること。
- 4 純正律は、基本の周波数が1：2、2：3、3：4、4：5の基本的な組み合わせでつくられる音律。
- 5 MP3は、音声のデジタル・データを圧縮する方式の一つ。

(8) 日本の楽器の分類として適切でないものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 体鳴楽器（金石土製）：銅鑼・磬・双盤・錫杖
- 2 体鳴楽器（木竹紙ガラス製）：木鉦・びんざさら・魚梆・小切子
- 3 膜鳴楽器：小鼓・桶胴・雞婁鼓／奚婁鼓・大拍子
- 4 弦鳴楽器：胡弓・阮咸・琵琶・三味線
- 5 気鳴楽器：尺八・箏箏・戒尺・法螺貝

(9) グスターヴ・ホルストが作曲した管弦楽組曲「惑星」について、ア主題とイ副題の組み合わせのうち、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- |   |       |                    |
|---|-------|--------------------|
| 1 | ア 金星  | イ 神秘主義者（神秘の神）      |
| 2 | ア 水星  | イ 翼のある使者（翼のある使いの神） |
| 3 | ア 天王星 | イ 快樂をもたらす者（快樂の神）   |
| 4 | ア 木星  | イ 平和をもたらす者（平和の神）   |
| 5 | ア 土星  | イ 魔術師（魔術の神）        |

(10) 次のコード進行を演奏するときのギターのリッチャグラムの順序として適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

コード進行： F → G → C7 → F → F7 → B♭ → B♭m → F → C7 → F

ア	イ	ウ	エ
オ	カ	キ	ク

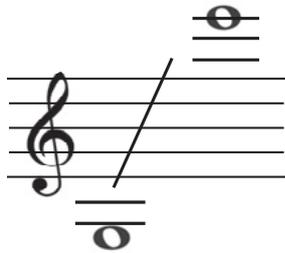
リッチャグラム：●押さえる位置 ×弾かない弦 ○開放弦 | セーハ

- |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | キ | → | イ | → | ウ | → | キ | → | ア | → | カ | → | エ | → | キ | → | ウ | → | キ |
| 2 | エ | → | オ | → | ウ | → | エ | → | ア | → | カ | → | キ | → | エ | → | ウ | → | エ |
| 3 | ア | → | イ | → | ウ | → | ア | → | キ | → | カ | → | エ | → | ア | → | ウ | → | ア |
| 4 | キ | → | オ | → | ク | → | キ | → | カ | → | ア | → | エ | → | キ | → | ク | → | キ |
| 5 | ア | → | イ | → | ク | → | ア | → | キ | → | カ | → | エ | → | ア | → | ク | → | ア |

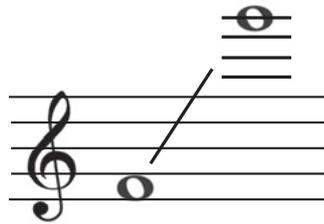
(11) 楽器の音域について適切なものを1～5から一つ選べ。なお、全て実音で記譜している。

解答番号は

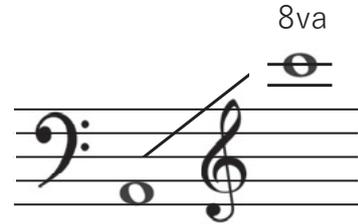
1 ヴァイオリン



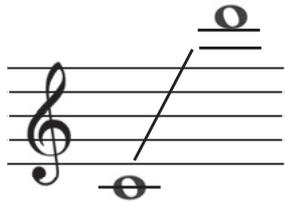
2 アルトリコーダー



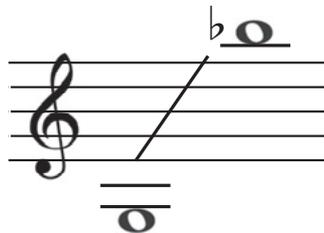
3 マリンバ



4 ソプラノリコーダー



5 トランペット (B♭管)



(12) 世界の諸民族の声についての説明として適切でないものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 ホーミーとは、一人の人間が同時に二つの声を出す歌唱法のことである。
- 2 ケチャとは、男性合唱を伴奏として、古代インドの英雄叙事詩ラーマーヤナの物語を演じる舞踏劇のことである。
- 3 パンソリとは、太鼓（プク）を伴奏として、逆境に負けず信念をもって生きた女性たちの物語を女声合唱で歌う民衆芸能のことである。
- 4 カッターリーとは、インド亜大陸のイスラム教徒独特の宗教歌謡のことであり、独唱あるいは主唱者とコーラスが交互にコール・アンド・レスポンス形式で歌う。
- 5 ゴスペルとは、アメリカ合衆国で生まれたプロテスタント教会の讃美歌のことである。

(13) インドネシアやその周辺の代表的な合奏形態であるガムランに使用される楽器について、ア楽器の名称、イ特徴、ウ写真の組み合わせが適切でないものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 ア サロン・ドゥモン／サロン・ドゥモン  
イ 固いバチで演奏される。  
音量が大きい。

ウ

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。  
出典：世界の音楽大図鑑  
ロバート・ジーグラー／スミソニアン  
協会／金澤正剛／河出書房新社  
298ページから299ページまで

- 2 ア ボナン・バルン／ボナン・バロン  
イ 壺型ゴングを並べた楽器。  
二つのバチを用いて一人の演奏者が打奏する。

ウ

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。  
出典：世界の音楽大図鑑  
ロバート・ジーグラー／スミソニアン  
協会／金澤正剛／河出書房新社  
298ページから299ページまで

- 3 ア ルバープ／ルバプ  
イ 装飾音のある長い旋律を演奏する2弦のフィドル（擦弦楽器）。  
かつては胴体部がココナッツの殻でできていた。

ウ

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。  
出典：世界の音楽大図鑑  
ロバート・ジーグラー／スミソニアン  
協会／金澤正剛／河出書房新社  
298ページから299ページまで

- 4 ア ゴン・スゥアンとゴン・クンプル／ゴング・アグンとクンポル  
イ 一人の演奏者が、ゴング一式を演奏する。  
曲の構造の節目を知らせる。

ウ

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。  
出典：世界の音楽大図鑑  
ロバート・ジーグラー／スミソニアン  
協会／金澤正剛／河出書房新社  
298ページから299ページまで

- 5 ア クンダン・クティブン／クンダン・クティボン  
イ 合奏の中心に据えられるドラム。  
音楽のテンポを操作すると同時に、  
セクションの変化や曲の終わりの合図を出す。

ウ

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。  
出典：世界の音楽大図鑑  
ロバート・ジーグラー／スミソニアン  
協会／金澤正剛／河出書房新社  
298ページから299ページまで

《出典：世界の音楽大図鑑 河出書房新社》

(14) 指揮に関する説明として適切でないものを1～5から一つ選べ。解答番号は 14

- 1 指揮をする時は、第1拍を垂直に振りおろす指示などによって拍を明示することが重要である。
- 2 拍子の数え方を拍法といい、指揮棒で拍子を指示する方法（指揮法）、声を出して拍子を数える方法（呼節法）、手拍子など打ち鳴らして拍を取る方法（打節法）、足踏みなどで拍子を数える方法（踏節法）、以下の表のように音符、休符を数える方法（リズム唱）がある。

			
タン	タタ	タツカ	ウン

- 3 合奏や合唱など多くの人と一緒に演奏する場合、指揮をすることによって、本来の拍子以外に音の強弱・緩急・曲想の指示が可能となる。
- 4 指揮法を大別すると、間接運動と直接運動の2種に分けられる。間接運動は、常に点の前にその点に対して予備的意義を持つ連続した運動（点前運動）があるもののことである。直接運動とは、点の前にその点を暗示する点前運動が行われていないもので突然に運動が起こるもののことである。
- 5 指揮をする際、左手は右手と左右対称に動かしてはならない。また、打点の位置が左右に広がった場合、打点の高さは変えなければならない。

(15) 次に示す空欄 (ア)、(イ)、(ウ)、(エ)、(オ) に当てはまる語句として適切なものを 1～5 から一つ選べ。解答番号は

文部科学省及び文化庁は「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校において合唱等を行う場面での新型コロナウイルス感染症対策の徹底について（令和2年12月10日付け2文科初第1344号）」において、以下の感染症対策に取り組むよう通知した。

1. マスク※は飛沫拡散防止の効果があるため、原則、着用することとします。
2. 合唱している児童生徒同士の間隔や、指導者・伴奏者と児童生徒との間隔、発表者と聴いている児童生徒等との間隔は、マスクを着用している場合であっても、(ア) 2 m（最低1 m）空けます。
3. (イ) 飛沫感染のリスクを避けるため、(ウ) ないようにします。
4. 連続(エ)。常時換気を原則とし、(オ)、十分に換気を行います。飛沫感染に留意し、近距離での大声を徹底的に避けます。

※ここでいうマスクは、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症の予防」の啓発資料による正しいマスクの着用（鼻と口の両方を隙間がないよう覆った）にのっとった形状のものをよぶ。

- ・マウスシールド、下部の開放が広いマスクなど、隙間のある形状のものは該当しない。
- ・フェイスシールドについては的確な取扱いを行わないと感染を拡大させてしまう危険があり、専門的知識のない方が扱うことは危険であるので、合唱活動においての着用は推奨しない。

- 1 ア できるだけ直径  
イ 立っている児童生徒の飛沫が座っている児童生徒の顔へ付着する  
ウ 横並びで歌わ  
エ して合唱を行った場所を使用せず、その都度、消毒を行います  
オ 窓等を対角方向に開け
- 2 ア 前方向及び左右方向ともにできるだけ  
イ 児童生徒間の  
ウ 立っている児童生徒と座っている児童生徒が混在し  
エ して練習をすることは避けます  
オ 窓等を一方方向に開け
- 3 ア 前後方向及び左右方向ともにできるだけ  
イ 立っている児童生徒の飛沫が座っている児童生徒の顔へ付着する  
ウ 立っている児童生徒と座っている児童生徒が混在し  
エ した練習時間はできる限り短くします  
オ 窓等を対角方向に開け
- 4 ア 前後方向及び左右方向ともにできるだけ  
イ 児童生徒間の  
ウ 横並びで歌わ  
エ して練習をすることは避けます  
オ 人の入れ替えの際には、5分以上、窓等を開けるなど
- 5 ア 前方向及び左右方向ともにできるだけ  
イ 唾等の  
ウ 同じ方向を向いて歌わ  
エ した練習時間はできる限り短くします  
オ 窓等を一方方向に開け

4 「中学校学習指導要領（平成29年3月告示）第2章 第5節 音楽」に関する内容について、以下の（1）～（3）の問いに答えよ。

（1）「中学校学習指導要領（平成29年3月告示）第2章 第5節 音楽 第1 目標」について、次の空欄に当てはまる語句として適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

第1 目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、（ ）を次のとおり育成することを目指す。

- 1 生活や社会の中の音や音楽，音楽文化と豊かに関わる資質・能力
- 2 多様な生活背景の中の音や音楽，音楽文化と豊かに関わる資質・能力
- 3 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り，創意工夫して表現する資質・能力
- 4 生活や社会の中の音や音楽，音楽文化についての理解を深め，豊かに関わる資質・能力
- 5 生活や社会における音楽文化についての理解を深め，創意工夫して表現する資質・能力

（2）「中学校学習指導要領（平成29年3月告示）第2章 第5節 音楽 第2 各学年の目標及び内容」について、以下のA～Dの問いに答えよ。

A 次に示す空欄（ア）、（イ）に当てはまる語句として適切なものを1～5から一つ選べ。  
解答番号は

第2 各学年の目標及び内容（第1学年）

1 目標

（2）（ ア ）ことや、（ イ ）ことができるようにする。

- 1 ア 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫する  
イ 音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって演奏する
- 2 ア 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫する  
イ 音楽を評価しながらよさや美しさを味わって演奏する
- 3 ア 音楽表現を創意工夫する  
イ 音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴く
- 4 ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりする  
イ 音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴く
- 5 ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりする  
イ 音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴く

B 次の空欄に当てはまる語句として適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

第2 各学年の目標及び内容（第1学年）

2 内容

A 表現

(2) 器楽の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ウ 次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。

(ア) 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能

(イ) ( ) 技能

- 1 創意工夫を生かし、曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりを感じながら演奏する
- 2 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する
- 3 他者との調和を意識し、楽器の音色や響きと奏法との関わりを感じながら演奏する
- 4 他者との調和を意識し、曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりを感じながら演奏する
- 5 表現形態の特徴を生かして、楽器の音色や響きと奏法との関わりを感じながら演奏する

C 次に示す空欄（ア）、（イ）に当てはまる語句として適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

第2 各学年の目標及び内容（第1学年）

2 内容

A 表現

(3) 創作の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ 次の(ア)及び(イ)について、表したいイメージと関わらせて理解すること。

(ア) ( ア )

(イ) ( イ )

- 1 ア 音のつながり方の特徴  
イ 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴
- 2 ア 音のつながり方の特徴  
イ 音階や言葉の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴
- 3 ア 音階や言葉などの特徴  
イ 音のつながり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴
- 4 ア 音階や言葉などの特徴  
イ 音素材の特徴及び音のつながり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴
- 5 ア 音階の特徴及び音のつながり方の特徴  
イ 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴

D 次に示す空欄に当てはまる語句として適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

第2 各学年の目標及び内容（第1学年）

2 内容

〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 音楽を形づくっている（ ）こと。

- 1 要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解する
- 2 要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解する
- 3 要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽における働きと関わらせて理解する
- 4 要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える
- 5 要素及び音楽に関する用語や記号などについて、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える

(3)「中学校学習指導要領（平成29年3月告示）第2章 第5節 音楽 第3 指導計画の作成と内容の取扱い」について、以下のA～Cの問いに答えよ。

A 次に示す空欄（ア）、（イ）に当てはまる語句として適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

(1) 各学年の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、次のとおり取り扱うこと。

イ 音楽によって喚起された（ア）、音楽表現に対する思いや意図、（イ）など、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けられるよう指導を工夫すること。

- 1 ア 音環境への関心  
イ 音楽に対する評価などを他者と共有，共感する
- 2 ア 音環境への関心  
イ 知覚したことと感受したこととの関わりを他者と共有，共感する
- 3 ア 様々な感覚を関連付けた音楽への感情  
イ 音楽に対する評価などを伝え合い共感する
- 4 ア 自己のイメージや感情  
イ 音楽に対する評価などを伝え合い共感する
- 5 ア 自己のイメージや感情  
イ 知覚したことと感受したこととの関わりを他者と共有，共感する

B 次の空欄に当てはまる語句として適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

(1) 各学年の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、次のとおり取り扱うこと。

オ 生徒が学校内及び公共施設などの学校外における音楽活動とのつながりを意識できるようにするなど、生徒や学校、地域の実態に応じ、（ ）ことができるよう配慮すること。

- 1 自然音や環境音などへの関心を高める
- 2 音や音楽と生活や社会との関わりを実感する
- 3 生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と主体的に関わっていく
- 4 生活や社会の中で音楽のよさを味わい、自然や四季の美しさを感じ取る
- 5 生活や社会の中で音楽文化の継承、発展、創造を支えていることへの理解につながる

C 次の空欄に当てはまる語句として適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は 

23
----

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

(8) 各学年の「B鑑賞」の指導に当たっては、次のとおり取り扱うこと。

イ 第1学年では言葉で説明したり、第2学年及び第3学年では批評したりする活動を取り入れ、( ) よう指導を工夫すること。

- 1 曲や演奏に対する評価やその根拠を明らかにできる
- 2 生活や社会における音楽の意味や役割を理解することができる
- 3 音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考えることができる
- 4 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解することができる
- 5 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について考える

